

表2 平成22年12月26日現在のHIV感染者及びエイズ患者の国籍別、性別、感染経路別報告数の累計

診断区分	感染経路	日本国籍			外国国籍			合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
HIV感染者	合計	9,423	736	10,159	1,122	1,342	2,464	10,545	2,078	12,623
	異性間の性的接触	2,110	594	2,704	349	785	1,134	2,459	1,379	3,838
	同性間の性的接触 ^{*1}	6,285	3	6,288	369	1	370	6,654	4	6,658
	静注薬物使用	28	2	30	24	3	27	52	5	57
	母子感染	13	9	22	4	8	12	17	17	34
	その他 ^{*2}	202	35	237	45	22	67	247	57	304
	不明	785	93	878	331	523	854	1,116	616	1,732
エイズ患者	合計 ^{*3}	4,420	289	4,709	729	345	1,074	5,149	634	5,783
	異性間の性的接触	1,622	192	1,814	254	191	445	1,876	383	2,259
	同性間の性的接触 ^{*1}	1,806	2	1,808	113	2	115	1,919	4	1,923
	静注薬物使用	20	3	23	22	1	23	42	4	46
	母子感染	9	3	12	1	4	5	10	7	17
	その他 ^{*2}	130	19	149	23	12	35	153	31	184
	不明	833	70	903	316	135	451	1,149	205	1,354
HIV感染者+エイズ患者 合計		13,843	1,025	14,868	1,851	1,687	3,538	15,694	2,712	18,406
凝固因子製剤による感染者 ^{*4}		1,421	18	1,439	—	—	—	1,421	18	1,439

*1 両性間性的接触を含む。

*2 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。

*3 平成11年3月31日までの病状変化によるエイズ患者報告数154件を含む。

*4 「血液凝固異常症全国調査」による2009年5月31日現在の凝固因子製剤による感染者数

※死亡者報告数

感染症法施行後の任意報告数(平成11年4月1日～平成22年12月31日)	289名
エイズ予防法 ^{*5} に基づく法定報告数(平成元年2月17日～平成11年3月31日)	596名
凝固因子製剤による感染者の累積死亡者数 ^{*6}	648名

*5 エイズ予防法第5条に基づき、血液凝固因子製剤による感染者を除く。

*6 「血液凝固異常症全国調査」による2009年5月31日現在の報告数